

令和6年度 学校評価アンケート結果【二戸分教室】

今年度の学校評価の分析に当たっては、評価が高かった項目（肯定的評価が90%以上）、評価が低かった項目（肯定的評価が80%以下）と捉えて進めた。

1 目的

地域に開かれた特色ある学校づくりを推進するため、二戸分教室の教育活動に対する率直な意見を伺い、今後の分教室運営に生かす。

2 実施期間および実施対象

(1) 対象 中学部生徒、高等部生徒、保護者および教職員

(2) 期間 令和6年11月22日～12月2日

(3) 回答率 中学部生徒 100%(12/12)

高等部生徒 105%(21/20)

※2回、回答した生徒がいた模様

保護者 93%(40/43 世帯＝小12/12 中11/11 高17/20)

※お子さんが複数の学部にて在籍している場合は、各学部の所で回答して頂くようお願いした。

教職員 100%(30/30)

3 保護者アンケート

【保護者の満足度】

○「A：満足」「B：どちらかという満足」・・・・・・・・・・97.5%（R5 83.3%）

●「C：どちらかという満足していない」「D：満足していない」・・・・2.5%（R5 16.7%）

全ての設問において90%以上の高い評価をいただいた結果、総合的な満足度も昨年度より大きく向上した。

【児童生徒の主体性を重視】

設問1「子どもたちや保護者の思いや願いに応じた個別の指導計画・個別の教育支援計画を作成していますか」と、設問2「子どもたちの実態に応じた教育活動を行っていますか」においては100%の高評価をいただいた。

子どもの実態や保護者の願いに応じた指導計画の作成と、それらに裏付けられた日々の教育活動が高く評価されたと思われる。

【児童生徒の社会的自立に向けた指導支援を重視】

全ての項目で前年度より高い評価をいただいた。

子どもの将来を見据えた進路に関する情報提供を行うとともに、関係機関とも連携した社会的自立に向けた指導支援が適切であったと認められた。

【特別支援学校としての役割を重視】

今年度より「note」を活用した情報発信が始まったことも高評価につながった。その他、新聞や地域の広報等に記事を取り上げられたことも功を奏した。今後も地域への情報発信も意識しながら、教育活動の情報を発信していきたい。

【復興教育と安全・安心な教育環境を重視】

全てで高い評価をいただいた。特に設問10 安全教育に関する数値が高まった。具体的な安全教育の実践とその情報発信により安全・安心な教育環境の整備に努めていることを理解いただいた。

【PTA活動の充実・活性化を重視】

各学部・専門部における活動が充実していたため、今年度も高い評価をいただいた。